

令和6年 第2回定例会

館林衛生施設組合議会会議録

令和6年10月28日開会

令和6年10月28日閉会

館林衛生施設組合

令和6年館林衛生施設組合議会第2回定例会会議録目次

議事日程	2
本日の会議に付した事件	2
出席議員	3
説明のために出席した者	3
事務局職員出席者	3
開会及び開議	4
諸般の報告	4
議席の指定	4
会期の決定	4
会議録署名議員の指名	4
議案第11号	4
管理者の挨拶	6
副管理者の挨拶	6
閉会	8
署名議員	9

令和6年館林衛生施設組合議会第2回定例会会議録

令和6年10月28日(月曜日)

館林地区消防組合 館林消防署 3階 防災教室

議 事 日 程

令和6年10月28日午後3時00分開議

- 第1 議席の指定
- 第2 会期の決定
- 第3 会議録署名議員の指名
- 第4 議案第11号 令和5年度館林衛生施設組合歳入歳出決算の認定について

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

出席議員（10名）

1 番	岩 上 博 志 君	2 番	田 辺 純 子 君
3 番	柴 田 信 君	4 番	野 村 晴 三 君
5 番	市 川 初 江 君	6 番	青 木 文 雄 君
7 番	眞 塩 香 奈 子 君	8 番	齋 藤 一 夫 君
9 番	大 澤 成 樹 君	10 番	原 口 剛 君

欠席議員（なし）

説明のために出席した者

管 理 者(館林市長)	多 田 善 宏 君
副管理者(板倉町長)	栗 原 実 君
副管理者(明和町長)	富 塚 基 輔 君
副管理者(千代田町長)	高 橋 純 一 君
副管理者(館林市副市長)	野 口 一 幸 君
監査委員	富 永 裕 文 君
会計管理者	松 澤 直 範 君
事務局長	瀬 下 則 嗣 君
施設課主幹兼環境施設係長	奥 山 浩 康 君
総務課主幹兼総務係長	青 木 裕 二 君
施設課衛生施設係長	江 原 俊 介 君

事務局職員出席者

書 記	武 井 沙 織	書 記	瀧 口 陽 介
書 記	橋 本 淳 志		

第 1 開会及び開議

(令和6年10月28日午後3時00分開会)

○議長(野村晴三君) ただいまの出席議員は、10名であります。定足数に達しておりますので、告示第5号をもって招集されました令和6年館林衛生施設組合議会第2回定例会は成立いたしました。

これより開会し、直ちに会議を開きます。

第 2 諸般の報告

○議長(野村晴三君) まず、諸般の報告をいたします。

事務書記をして報告いたさせます。

○書記(瀧口陽介君) ご報告申し上げます。

千代田町議会から選出されていた議員の任期満了に伴い、去る、4月1日、千代田町議会において、本組合議会議員の選挙が行われました。

新たに、大澤成樹議員、原口 剛議員が本組合議会議員となりました。

以上で、報告を終わります。

第 3 議席の指定

○議長(野村晴三君) 次に、日程第1、議席の指定を行います。

9番、大澤成樹君、10番、原口 剛君。

以上のとおり、指定いたします。

第 4 会期の決定

○議長(野村晴三君) 次に、日程第2、会期の決定をいたします。

本定例会の会期を本日1日といたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(野村晴三君) 異議なしと認めます。

本定例会の会期は、本日1日と決定いたしました。

第 5 会議録署名議員の指名

○議長(野村晴三君) 次に、日程第3、会議録署名議員の指名をいたします。

会議録署名議員に、1番、岩上博志君、10番、原口 剛君を指名いたします。

第 6 議案第11号

○議長(野村晴三君) 次に、日程第4、議案第11号 令和5年度館林衛生施設組合歳入歳出決算の認定についてを議題といたします。

提案理由の説明を願います。

管理者、多田善宏君。

○**管理者（多田善宏君）** 議案第11号 令和5年度 館林衛生施設組合歳入歳出決算の認定について申し上げます。

令和5年度の歳入決算額は15億9,795万8,652円となり、予算に対する収入率は100.61%でございます。

また、歳出決算額は15億4,927万7,652円で、その執行率は97.55%となり、歳入歳出差引残額は4,868万1,000円でございます。

このうちから4,500万円を財政調整基金に積立てし、残り368万1,000円を翌年度へ繰越すことといたしました。

まず、歳出の主な内容について申し上げます。

衛生費のうちごみ処理費につきましては、引続きごみ処理施設及びたてばやしストックヤードの運営を民間事業者へ包括委託し、管内から発生した一般廃棄物を適正に処分してまいりました。

次に、し尿処理費について申し上げます。

し尿処理施設につきましても、運営を民間事業者へ包括委託し、管内から発生するし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理し、施設の安定稼働に努めてまいりました。

次に、歳入の主な内容を申し上げます。

分担金及び負担金につきましては、し尿処理費が減少したことにより前年度比3.1%の減少、繰入金及び諸収入につきましても前年度より減少となっております。

次に、使用料及び手数料につきましては、搬入量の実績により前年度比1.9%の増額となっております。

また、組合運営に必要な財源を確保するため、令和5年度におきましても財政調整基金を積極的に活用し、健全な財政運営に努めてまいりました。

以上、決算の概要について申し上げます。

よろしくご審議の上、認定くださるようお願い申し上げます。提案理由の説明といたします。

○**議長（野村晴三君）** 説明が終わりました。

続いて、監査委員より決算審査の報告を願います。

監査委員、富永裕文君。

○**監査委員（富永裕文君）** 令和5年度決算審査の経過及び結果についてご報告申し上げます。

本組合の令和5年度決算書及び会計書類の審査を本年7月26日、組合事務所において、齋藤監査委員と共に実施いたしました。その結果は、別紙、館林衛生施設組合歳入歳出決算審査意見書の1ページ、第4. 審査の結果のとおりでございますので、ご一覽

をお願い申し上げます。

よって、本会計及び決算書等は適正に表示されていることを認める報告をいたします。

令和6年10月28日、監査委員、富永裕文。

以上でございます。

○議長(野村晴三君) 決算審査の報告が終わりましたので、質疑を行います。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

○議長(野村晴三君) 質疑を打ち切ります。

討論を行います。

(「討論なし」と呼ぶ者あり)

○議長(野村晴三君) 討論を打ち切ります。

採決いたします。

議案第11号を認定することに賛成の方は、挙手を願います。

(挙手全員)

○議長(野村晴三君) 挙手全員。

よって、議案第11号は認定することに決しました。

第 7 管理者の挨拶

○議長(野村晴三君) 以上で、本日の議事日程の全部を終了いたしました。

この際、管理者からごあいさつしたい旨、申し出がありましたので、これを許します。

管理者、多田善宏君。

○管理者(多田善宏君) 本日は、提案いたしました議案につきまして、原案どおり議決していただき厚くお礼申し上げます。

さて、令和5年度の処理状況を申し上げますと、ごみの搬入量は、管内住民の皆様のご協力により、前年度比1.4%の減少、し尿の搬入量も前年度比0.9%の減少となっております。

今後におきましても、管内の一般廃棄物を適正に処理し、将来にわたって安定的にごみ処理・し尿処理を継続できるよう施設の維持管理に万全を期してまいります。

結びとなりますが、議員各位におかれましては、引続き本組合の発展に向け、ご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます、お礼の挨拶とさせていただきます。

本日は、大変ありがとうございました。

第 8 副管理者の挨拶

○議長(野村晴三君) 最後に、栗原副管理者からごあいさつしたい旨、申し出がありましたので、これを許します。

副管理者、栗原 実君。

○副管理者(栗原 実君) 改めましてこんにちは。板倉町長の栗原実でございます。

貴重なお時間をいただきまして、今日が最後になるだろうということで頂戴しましたが、誠にありがとうございます。

過去16年間、その前に1回チャレンジャーとして失敗した経緯がありますので、町長を志して真剣に取り組むということについては、ちょうど20年ということで、いつの間にか管理者の中でも、圧倒的に歳だけは先輩になってしまいました。いつまでやっても限りのないことですが、自分の後継者をつくることを最後の仕事としてという、ちょっと格好の良いことを言わせていただいて、あと幾ばくかの寿命を遅滞なきことがないように、現在真剣に務めているところです。

思い起こすと、当組合については、安楽岡市長とのお付き合いが長くございまして、千代田さんはし尿処理については一緒ですが、ごみ処理等については1市2町ということで、当時の館林の安楽岡市長を中心に、それぞれの自治体に必要な施設を1つずつ、公平に負担するという大原則から出発して、紆余曲折した大きな経緯があったんですが、県内でも有数の合理的で効率的な処理施設を有している組合に今日まで至っているということは、選択として間違っていなかったなど。皆さんのお力添えも含めて、関係職員にも御礼申し上げたいと思いますし、し尿処理施設については、千代田の高橋町長を含めて一緒に輪を作っていただいて、改修も済ませました。

し尿処理・ごみ処理とは、できればタッチしたくないイメージも先行するんですが、人間は吐く息から、口から出すものから、全部ごみだということで、ごみとの戦いが人間の最終的な戦いだ。地球が有限である限り、どんどん汚染が続くわけですから、その結果として、正に大気汚染とか、二酸化炭素とか、色々違う表現をされてますが、それは我々の傲慢な思い上がりの結果じゃないのかな。地球の支配者は人間で、人間は万能だから、限りある地球の資源を食い尽くしても上へ上へ、それがイコール発展、あるいは、近代化という名のもとに限りなきものを続けていく。それは、気付いた時には、自分の首を絞める状況になっているんじゃないかと。もうそろそろ気付くべきであると。

そういったことを組合の施設を通して、我々自身も1つ1つ勉強させていただいて、最終処分場については、正副管理者会議で話が出たんですが、我々の組合で処分ができないものもあるわけですね。汚泥の最終残渣は北茨城市まで、それも焼却して最も少量になったものまでというサイクルも含めて見直しながら、また、そういったサイクルの必要性を考えると、なくてはならない一部事務組合だということで、今後も皆様方の御協力と協議、そして職員は限りなくプロですから、当然のことですが、地球の自然、そして人間はどうあるべきかということも究極のテーマになるかもしれません。

ということで、今後の皆様方の御発展と、関係職員もきっと色々大変な思いをしながら、我々管理者も、時には理屈だけじゃなく、強引に叱り飛ばすこともあったかもしれません。

それらに反省しながら、お詫びを申し上げたいと思います。

今後の皆様方に期待を持ちながら、長々と大変お世話になりましたが、以上として御礼のあいさついたします。

今日は、大変貴重な時間を与えていただきありがとうございます。

大変ありがとうございました。

第 9 閉会

○議長(野村晴三君) 以上をもちまして、館林衛生施設組合議会第2回定例会を閉会いたします。

大変お疲れ様でした。

(午後3時15分閉会)

令和6年 月 日

議長 野村晴三

議員 岩上博志

議員 原口剛